

循環器内科

● スタッフ（2021年10月1日現在）

診療科長 近森 大志郎
 医局長 矢崎 義直
 病棟医長 村田 直隆
 外来医長 黒羽根 彩子

医師数 常勤 33名
 非常勤 18名

● 診療科の特色・診療対象疾患

1. 特色

- ① 24時間365日高度な心臓病治療を実践
 常に最先端の心臓病治療を提供するため24時間専門医師が院内に待機している。とくに重篤な心臓病はCCU（心臓集中治療室）において専属チームが治療を行っている。
- ② 患者さん中心のスタンダードな診療
 最先端の高度医療を実践するため医師全員のレベルアップを図る中で、外来・入院を問わず安全で質の高い標準的な医療を選択している。毎日のカンファレンスでは全医局員による詳細な検討で治療方針の統一を図っている。
- ③ 地域のホームドクターとの密接な連携
 患者さんがいつでも安心して地域のホームドクターにかかれるよう、地域のホームドクターとの勉強会、交流を積極的に行い連携を深めている。

2. 主な診療対象疾患

- ① 虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）
 心臓カテーテル検査・治療ならびに重症例に対する補助循環治療など
- ② 不整脈
 徐脈性不整脈に対する人工ペースメーカ植込み、心房細動やその他の頻脈性不整脈に対する電気生理検査・カテーテルアブレーション、植込み型除細動器（ICD）
- ③ 心不全
 重症心不全に対する両心室ペーシング（心臓再同期療法CRT）、心不全に伴う睡眠時無呼吸症候群の診断・治療
- ④ 肺高血圧症
 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対するバルーン肺動脈形成術（BPA）
- ⑤ 末梢動脈疾患（PAD）
 閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療（EVT）
- ⑥ 高血圧症
 降圧薬治療、血管機能を用いた高血圧管理
- ⑦ 構造的な心疾患（SHD）
 重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）、経皮的左心耳閉鎖術（LAAO）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（TEER）
- ⑧ その他
 心筋症（遺伝子診断を含む）、心臓弁膜症、心膜心筋疾患、感染性心内膜炎、睡眠呼吸障害の診断と治療、動脈硬化の非侵襲的診断（血管機能、画像診断）

● 診療内容の特色と診療実績

1) 外来診療体制と実績

循環器内科全般の外来に加え、専門外来として、不整脈外来、ペースメーカ外来、心不全外来、末梢動脈疾患（PAD）外来、睡眠呼吸障害外来、SHD 外来などがある。2021年度の新規紹介患者数は869名であった。

2) 入院診療体制と実績

循環器内科の定床は一般病棟33床、CCU6床である。2021年の延べ入院患者数は一般病棟1,729名、CCU474名であった（2020年一般病棟1,512名、CCU336名）。CCU入院患者疾患別割合を図1に示す。

疾患別治療件数

- ① 虚血性心疾患
 2021年は専用の心臓カテーテル検査室2室で、冠動脈造影検査（CAG）717例、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）352例を施行した（図2）。
- ② 不整脈疾患
 2021年は、カテーテルアブレーション247例（うち心房細動169例）、新規ペースメーカ植込み55例、ICD13例、CRTP/D4例となっている（図3）。
- ③ 構造的な心疾患（SHD）
 2020年7月よりTAVI治療を開始し、2021年は50例に治療を施行した。2021年度から左心耳由来心原性脳梗塞予防及び経口抗凝固薬離脱を目的とした経皮的左心耳閉鎖術（LAAO）及び重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術（TEER）を開始している。

図1 2021年CCU入院患者疾患別割合（%）

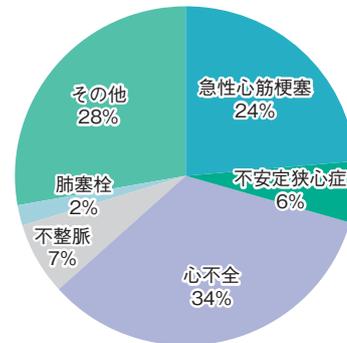


図2 心臓カテーテル検査・治療件数

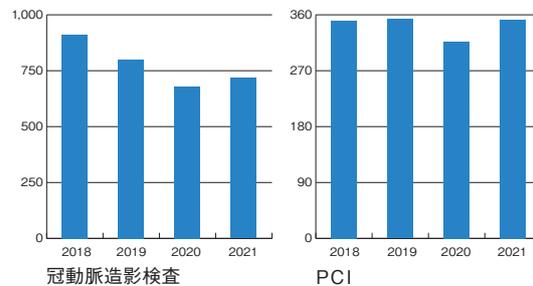


図3 不整脈疾患治療件数

